

平成30年8月21日

# 農作物生育・技術情報7号

日高農業改良普及センター日高西部支所  
JAびらとり JA門別町

## 1 水稻生育状況 中苗ななつぼし

親穂を中心に穂かがみが見られますが、本年は遅発分げつが多く、穂揃いが遅れています。土壌表面が乾燥しすぎると亀裂が大きく入り、稲の根が切れて吸水力が低下し、登熟不良や千粒重に影響します。「水落とし」は、水田土壌排水や稲の登熟状況をよく観察して行いましょう。

カメムシなどの病害虫は、水田すくい取りを行い、発生状況に応じて防除してください。

生育状況 (8/15現在)			〈技術対策〉
項目	H30年	平年	
草丈	87.7cm	100.7cm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登熟前半の水管理 「穂かがみ期」になるまで、水田の土壌水分を確保する。</li> <li>・登熟後半の水管理 収穫の10日前頃までは、土壌表面を乾燥させない。水田の適正な水分は、土壌表面に小さな亀裂ができ少し足跡が付く程度。排水の悪い水田は溝切りを行う。水田が乾燥する場合は走り水を行い土壌水分を保つ。</li> <li>・カメムシ対策（追加防除） カメムシの温床になる畦の雑草を処理する。 水田すくい取り(20回)を行い、捕虫した数で追加防除の判断をする。 《判断基準》 「きらら397」 2頭以上 「ほしのゆめ」 1頭以上 ※「ななつぼし」「ゆめびりか」は「ほしのゆめ」に準ずる</li> </ul>
葉数	11.1葉	10.9葉	
m茎数	423本	551本	
出穂期	8月5日	8月1日	
出穂揃	8月10日	8月5日	
生育の遅速	-5	-	

※ 病害虫防除は、農作物病害虫防除ガイド等により適正な薬剤使用を行う。

## 2 主要野菜の生育状況

作物名	生育状況	技術対策
トマト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月定植で3~4段目収穫中。</li> <li>・6月定植で1~2段目収穫中。</li> <li>・生育は平年よりも緩慢。</li> <li>・灰色かび病、萎凋病、かいよう病、うどんこ病、アザミウマ類、すじ腐れ果、尻腐果、先とがり果などが見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な換気に努め、古葉や内側の葉は適切に摘葉する。</li> <li>・昼夜温の差が出始め、裂果が発生しやすくなるので温度管理に注意する。</li> <li>・収穫が終了したほ場の茎葉残さは、必ず適正に処理する。</li> <li>・玉肥大を促すため、時期を見計らい摘心する。</li> </ul>
きゅうり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生育は順調。</li> <li>・主茎が13節程度まで伸長し、5節目が開花から着果している。</li> <li>・平年並の収穫始となる見込み。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「うどんこ病」「アシグロハモグリバエ」、「アブラムシ類」の発生に注意する。</li> <li>・病害は予防を中心に防除を行い、害虫が発生した場合は、適宜防除を実施する。</li> <li>・主茎の摘芯や側枝の整理は、まとめて一度に行うと、樹勢が衰えるので注意する。</li> </ul>

作物名	生育状況	技術対策
ハウス軟白ねぎ	・4月定植収穫中。 ・ハモグリバエ類、アザミウマ類、 萎凋病、小菌核腐敗病、黒斑病 が見られる。	・雑草は害虫の発生源になりやすいのでハ ウス内外の除草を行う。 ・萎凋病発生ほ場では計画的に土壤消毒を 実施する。
アスパラガス (ハウス立茎)	・灰色かび病、斑点病の発生が見 られる。	・ハウス内外の除草を徹底する。 ・斑点病は定期的に防除を行う。

※日高管内でネギアザミウマに対する合成ピレスロイド系薬剤の抵抗性が確認されました。  
 今後は合成ピレスロイド系薬剤の連用を避け、ローテーション防除を行いましょう。

### 3 畑 作

●豆類 病害虫防除時期です。ほ場をよく観察し発生が確認されたら直ちに防除しましょう。

(1) 大豆

〈マメシンクイガの防除〉

防除時期	備考
2回目 ⇒ 1回目の散布から7~10日後	8/20~25ころ

(2) 小豆

〈菌核病、灰色かび病、炭そ病防除〉

防除時期	備考
1回目 ⇒ 開花最盛期 (7/下~8/中ころ)	アズキノメイガと同時防除を実施する
2回目 ⇒ 1回目の散布から7~10日後	

### 4 畜 産

●牧草生育状況 (8月15日現在)

作物名	生育状況			遅速 日数	摘 要 (作業期節・特記事項)
	項目	30年	平 年		
牧草(チモシー)	草丈(2番草)	65.5cm	73.1cm	-5	2番草の生育は遅れている

※二番草の刈取時期はチモシー草地は一番草刈取後、40日~50日です。オーチャード草地は、同30日~40日  
 です。オーチャードは、年3回利用しなければ(刈り遅れると)嗜好性が低下します。

※牧草のは種は、越冬時の生育確保のため8月末日までに終えましょう。

※オーチャードは、8月下旬に施肥があると耐凍性の高い分けつが促進され、越冬性が高まります。

●サイレージ用とうもろこし生育状況 (8月15日現在)

作物名	生育状況			生育期節	遅速 日数	備 考
	項目	30年	平 年			
サイレージ用 とうもろ こし	草丈	252.8cm	317.8cm	絹糸抽出 70%	-8	ほ場間の生育むらが大きく、雄 穂・絹糸抽出期がばらついで いる
	葉数	18.5枚	18.1枚			
	稈長	221.9cm	280.6cm			

※登熟が早まる可能性があります。 平年値(乳熟期:8/28、糊熟期:9/10、黄熟期:9/25)  
 登熟度合に留意し、早めの収穫準備をしましょう。

### 5. 農薬の安全使用

散布作業は暑い日中を避けて、風の弱い、朝夕の涼しい時を選び、一人で長時間の連続  
 散布作業はしないで下さい。